JAFRA NEWS
Japan Association for Rail Advertising
公益社団法人 日本鉄道広告協会 会報
12月号
Vol.81
2023年12月1日発行

発行所：公益社団法人 日本鉄道広告協会
〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR恵比寿ビル10階
TEL：03-5791-1808　FAX：03-3443-1616　メールアドレス：information@j-jafra.jp
URL：https://j-jafra.jp/

巻頭レポート

「JR名古屋駅の価値向上に向けた新たな取り組み」

ジェイアール東海エージェンシー
交通広告部　企画・駅メディアチーム
チームリーダー
西村　健太郎

1．はじめに

JR名古屋駅は、1日約22万人※が利用する中部地区最大のターミナル駅であり、中部地区のビジネスや商業の中心地です。

新型コロナウイルス感染症の蔓延により駅利用者数は激減し、駅は「人が集まる場」という状況では無くなり、それに伴い駅空間・駅メディアの価値も大きく変化しました。

新型コロナウイルスの影響が徐々に少なくなり駅に人が戻り始める中、私たちは媒体社として駅空間や駅メディアの価値を高める取り組みを様々な切り口で進めており、今回はその一部事例をご紹介します。

※JR東海公表（2018年度乗車人員新幹線・在来線合計）

第1回「メイエキ＋」Supported by CAMPFIRE

2．「メイエキ＋」による駅の価値向上

最初にご紹介するのが、2022年8月に立ち上げた「メイエキ＋（プラス）」という取り組みです。

「メイエキ＋」とは、従来の広告枠の販売とは異なり、企業・地域との連携による駅の価値向上を目的とし「名古屋駅＝名駅（メイエキ）」に体験価値や出逢いをプラスするという発想のもと、「普段何気なく歩いている駅コンコース（イベントスペース）が駅利用者にとってプラスとなる場」を創出しようという試みです。

初回の開催は、昨年8月19日～21日の3日間、国内最大級のクラウドファンディング「CAMPFIRE」を提供する㈱CAMPFIREとともに、普段手に取って見ることができないクラウドファンディングの商品を展示するショールーミングイベントを開催。コロナ禍でイベントが少ない中、駅に来る一つのきっかけとして多くの方にご来場いただきました。

第2回は、昨年11月21日～23日の3日間、メイエキ＋「ファッション・CG作品総選挙　with 名古屋モード学園・ＨＡＬ名古屋」を開催。名駅に校舎を構えるモード学園・ＨＡＬとともに名駅エリアの活性化、リアル空間とデジタル空間の連動を目的に、イベント当日は両校学生の制作作品を展示して人気投票を実施。投票結果は昨年12月3日から約2週間開催されたメタバース内の「バーチャル名古屋駅」で発表しました。

第2回メイエキ＋「ファッション・CG作品総選挙　with 名古屋モード学園・ＨＡＬ名古屋」

そして第3回目として、今年8月17日～20日の4日間、若手アーティスト支援事業を行うスタートアップ企業㈱artkakeとともに「メイエキ＋アトコレ　駅の美術館」を開催。30名以上のアーティスト作品を展示し、最終日は現地で協賛企業賞の発表や審査員の講評も行いました。メイエキ＋賞に選ばれたアーティスト作品はポスター化し、9月の約1か月間ＪＲ名古屋駅に掲出、駅構内をアートで華やかに彩っていただきました。

「メイエキ＋」名称でのＬＩＮＥ公式アカウントも立ち上げており、イベント開催告知、イベント会場でのアンケート実施やクーポン配布といった機能も持たせています。このアカウントでは名古屋駅関連情報や弊社が取り組む各施策の発信も行っています。リアルスペースに加えて、ＬＩＮＥ上でも駅利用者との接点をつくることで、これまで以上に立体的なコミュニケーションを図ろうと模索中です。

メイエキ＋LINEアカウント

今後の取り組みとしては、今年12月に東海地区MaaS研究会とともに、MaaSの普及につながる展開を行う予定です。引き続き東海地域の活性化につながる自治体・企業との連携、また駅との親和性の高いスタートアップ企業等との共創を推進していきます。

メイエキ＋アトコレ 駅の美術館

3. インパクトメディアによる駅メディアの価値向上

次にご紹介するのが、駅の空間特性を活かしたインパクトメディアの開発についてです。ＪＲ名古屋駅中央コンコースは、新幹線改札のある「太閤口」と在来線改札のある「桜通口」を東西に直線で結び、観光客からビジネスパーソン、学生や主婦など多くの老若男女が行き交う駅通路であり、当社在来線交通メディアの中で最も価値の高い場所になります。

その通路の真ん中に約77㎡のイベントスペースがありますが、2020年度は新型コロナウイルスの影響で稼働率が低迷、空いたスペースの活用が喫緊の課題でした。そこで生まれたのが、イベント開催のない時だけ組み立て式で設置できるＨ2400×Ｗ7280×Ｄ1200㎜の直方体媒体「グラウンドメディア名古屋」です。これまでイベントスペースとしてのみ販売していたスペースを、大型広告メディアとしても販売できるスペースにバージョンアップさせました。これにより、交通広告×ＳＮＳによる拡散を狙う広告主が増加する中、名古屋駅改札外でも首都圏等で出稿の多いＢ0×5連貼り×2段といった大型ボードの需要を獲得することが可能となりました。今ではイベント開催よりも稼働が高いメディアとして成長、多くの広告主様にご活用いただいています。今年度は東京駅に「グラウンドメディア東京」も開発、他の駅にも展開する予定です。

グラウンドメディア名古屋（福井県観光PR実施時）

もう一つ、最近開発した「エントランスメディア名古屋桜通口」をご紹介します。こちらはＪＲ名古屋駅利用者の大半が出入りする「駅玄関口」のガラス扉とその柱をメディア化したもので、まさにＪＲ名古屋駅の顔となる場所です。ガラス面はＨ675×Ｗ1135㎜×10面に加え、柱のシート貼りＨ2695㎜×Ｗ398㎜×22面の商品となります。

エントランスメディア名古屋桜通口

名古屋市の屋外広告条例に抵触しないよう内側のみでの広告掲出となりますが、非常に高い視認性を持つ媒体です。これまでこの桜通口エリアには新規媒体開発できるスペースがほぼ無かったため、この媒体が出来たことで駅の中での桜通口エリアの価値も高まったと感じます。

4. おわりに

名古屋駅利用者数はまだコロナ以前には戻っていない状況ですが、駅メディアはコロナ前以上に効果や視認性など媒体周辺を含めた空間の価値を求められています。今回ご紹介した事例により、名古屋駅を更に魅力ある駅にすることで（駅の価値を高めることで）、より多くの人が集まり、広告視認数も増え、広告効果、媒体価値が高まっていくものと考えています。

鉄道会社とともに広告効果や媒体価値の基盤となる「駅という空間の価値をどのように高められるか？」私たち媒体社に求められている課題と認識しています。

既成概念にとらわれず、新しい発想でこれからも媒体開発や価値の創造に、日々務めて参ります。

広場

「キハ281 トレインルーム」

理事　林　雅子（北海道旅客鉄道株式会社）

皆さんの子供の頃の「将来の夢」は何でしたか？

「鉄道の運転士」は昔も今も変わらず、「なりたい職業ランキング」の上位に入っています。最近はYouTuberなどの新しい職業がランク上位に入ってきていますが、変わらず名前を連ねているところに根強さを感じます。

運転席に座って、指を差し出し、出発進行！マスコン（運転レバー）を操作しゆっくりと列車が動き出します。ガタンゴトンと音を立てながら、列車は線路を滑るように走ります。あっ、次の駅が見えてきました。そろそろブレーキをかけなきゃ。先頭車の窓から前を見て「運転士さん」を夢見た人は多いのでは？

そんな夢を思う存分実現できる場所があります。今年10月、JR北海道ホテルズ株式会社が運営する宿泊特化型ホテル「JRイン千歳」に新設した、ホンモノ志向のコンセプトルーム「キハ281トレインルーム」です。

JRインのトレインルームは「JRイン函館」の「キハ40トレインルーム」に次いで、2つ目。今回題材にしたキハ281は1994年3月から28年間、札幌と函館を結ぶ特急スーパー北斗・北斗として運行し、気動車として当時日本一の速さを誇ったJR北海道を代表する車両の一つです。「キハ281トレインルーム」は、この勇姿を後世にも残そうと、本物の列車の部品を使って、JR北海道グループの総力を挙げて作り上げた渾身のコンセプトルームです。

計器類

客室入り口横にはキハ281のホンモノの貫通扉。足を一歩踏み入れると、キハ281の先頭車に描かれていた「FURICO」のロゴが視界に飛び込んできます。この空間を〝ひとりじめ〟することで、子供の頃憧れた「運転士」という夢を一晩中実現できるのです！

客室入口

65インチのモニターに映し出されるのは、実際の運転台から撮影した、北海道の大自然の中を颯爽と走る特急北斗の迫力のあるホンモノの映像です。重量感のあるマスコン（もちろんホンモノ！）を引くと、スピードメーターの針が連動して動きます。この動きの再現にも当社の「職人」がとことんこだわりました。

さらにこだわったのは列車の色々な「音」です。エンジンのうなり、汽笛、車内放送のチャイム、どれもホンモノの音とボタンを使っています。中には「こんな音まで？」という、トイレの洗浄音もあるんです！「ゴー、ズポッ」という、あの音を録るためだけに、空っぽだった水タンクに改めてトイレ洗浄水用の水を入れて録音しました。車掌アナウンスを体験できるよう実際に使用していたマイクなどの機器類も設置しているんですよ。

また、宿泊特典として、オリジナル宿泊証明書と運転士が使用する携帯時刻表のレプリカも用意しています。夢を達成した証にもなりますね。

ちなみに宿泊第1号はご夫婦でした。意外（？）にも、ご夫婦の宿泊も多いと聞いています。

子供の頃の夢を実現するもよし。童心に返って楽しむのもよし。キハ281の想い出にひたるもよし。思う存分運転士気分が味わえる「キハ281トレインルーム」に足を運んでみてはいかがでしょうか。

客室内観

次回の広場もお楽しみに。

● 支部便り ●

首都圏支部

セミナーを開催しました。

首都圏支部（赤石良治支部長）では、11月13日にジェイアール東日本企画大会議室に講師に株式会社ロッテの坂本実咲さまをお迎えして、2023年度第2回セミナーを開催し、24社52名の参加がありました。交通広告を使ったプロモーション展開事例だったので、出席された会員社の皆さまは熱心に聴講をしていました。

講師の坂本実咲氏

日時：2023年11月13日（月）
会場：㈱ジェイアール東日本企画大会議室
講師：株式会社ロッテ　マーケティング本部情報クリエイティブ部宣伝企画課　坂本実咲氏
演題：コアラのマーチ×フランク ミュラー交通広告展開

株式会社ロッテの「コアラのマーチ」とスイス高級機械式腕時計ブランド「フランク ミュラー」とのコラボレーション商品を期間限定で販売した際の広告展開の企画についてです。3月21日（火）に新商品「コアラのマーチ〈レモンタルト〉」が発売されたことを記念に、〝楽しいひと時〟をお届けすることをテーマに、「コアラのマーチ〈チョコ〉」、「コアラのマーチ〈いちご〉」のパッケージデザインとビスケット絵柄に「フランク ミュラー」のイメージをコラボレーションしたものに加え、「フランク ミュラー」とのコラボレーションを記念して、3月20日（月）から4月2日（日）までの期間限定で、コアラのマーチのキャラクター〝コアラのマーチくん〟が「フランク ミュラー」の東京本店があり、ハイブランドショップが多く並ぶ街・銀座駅でコラボレーションの世界観が溢れるグラフィック広告を展開しました。

広告掲出
「コアラのマーチ」×「フランク ミュラー」グラフィック広告概要
①掲出場所：東京メトロ銀座駅臨時柱巻広告（銀座四丁目交差点改札付近）
掲出期間：2023年3月20日（月）～3月26日（日）
②掲出場所：東京メトロ銀座駅構内広告・銀座プレミアムセット（A11出口付近、B4出口付近、B5・B6出口付近他）
掲出期間：2023年3月27日（月）～4月2日（日）

熱心に聴講する皆さま

近畿・中国・北陸支部

実務研修を開催しました

近畿・中国・北陸支部（伊藤義彦支部長）では、9月21日（木）に、リアル・オンラインの併用で交通広告実務研修を開催しました。当日は、会場に12社32名、オンラインから33社116名の参加があり多くの会員社の皆さまと最新の情報を共有することができました。

詳細は次の通りです。

日時：9月21日（木）13：30～16：00
会場：㈱JR西日本コミュニケーションズ会議室 リアル・オンライン併用開催
第1部　13：40～14：40
演題：「鉄道沿線の特性と魅力について」
〈理論編〉
講師：㈱JR西日本コミュニケーションズ　ソリューションビジネス統括局　コミュニケーションプランニング局長　尾張英正氏
〈実践編〉パネルディスカッション
講師：㈱リクルートプロダクト統括本部プロダクトデザイン室SUUMO編集部　SUUMO編集

1GGM　柿崎隆氏
㈱JR西日本コミュニケーションズ
交通メディア統括局　販売企画局次長　木村素彦氏

第2部　14：50～15：50
演題：「屋外広告、交通広告の変遷」
講師：㈱JR西日本コミュニケーションズ　交通メディア統括局長　横山新一氏
参加者：会場32名／オンライン116名

公益社団法人 日本鉄道広告協会 近畿・中国・北陸支部
「交通広告実務研修会」

13:30	開催挨拶	
13:40 ～ 14:40	第一部 ＜理論編＞「鉄道沿線の特性と魅力について」 株式会社JR西日本コミュニケーションズ ソリューションビジネス統括局 コミュニケーションプランニング局長	尾張 英正 氏
	＜実践編＞スペシャルゲスト 株式会社リクルート プロダクト統括本部 プロダクトデザイン室 SUUMO編集部 SUUMO編集1G GM	柿崎 隆 氏
	株式会社JR西日本コミュニケーションズ 交通メディア統括局 販売局次長	木村 素彦 氏
14:50 ～ 15:50	第二部 「屋外広告、交通広告の変遷」 株式会社JR西日本コミュニケーションズ 交通メディア統括局長	横山 新一 氏
15:50	閉会挨拶	

第1部講師の尾張氏、柿崎氏、木村氏(左から)

開会のあいさつをする冨田栄次副支部長

第2部講師の横山氏

会場の皆さま

四国支部

研修会を行いました

四国支部（久保正支部長）では、10月12日（木）～13日（金）にわたり九州にて広告媒体研修会を実施しました。

日時：2023年10月12日（木）～13日（金）
場所：小倉駅・新山口駅
目的：小倉駅および新山口駅広告媒体視察
参加者：支部会員7社14名
概要：昨年度に引き続き、今年度も九州にて広告媒体研修会を実施、小倉駅および新山口駅の広告媒体視察を行いました。支部会員同士で、活発な意見および情報交換を行い、大変有意義な研修となりました。

小倉駅のデジタルサイネージ

新山口駅のデジタルサイネージ

小倉駅にて参加者集合

委員会便り

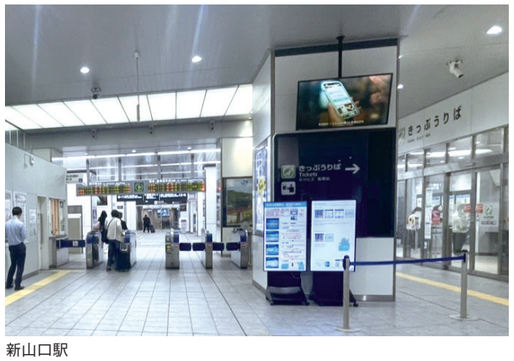
環境委員会

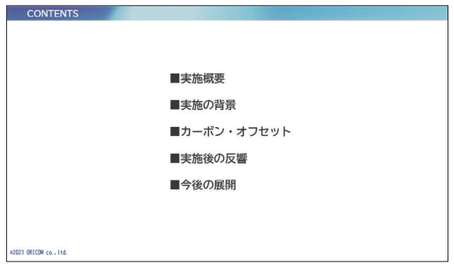
環境委員会（冨田栄次委員長）は、11月7日（火）ジェイアール東日本企画12階プレゼンテーションルームにて、2023年度第1回委員会を委員6名が参加して開催しました。

初めに新井良亮会長より、

日本を取り巻く世界情勢が大変複雑化してきており、不安定要素が多々ある中、広告業界で社会に対して何の提案ができるかを考えて行かなくてはなりません。最近の若い人たちは、商品や企業を選択する時に、企業の目的は何か、理念は何なのかといったことにあわせて環境問題にも心を寄せています。

既存の延長線上でその問題を考えていたのでは、マーケットは誰も振り向いてくれませんので、付加価値をつけたもの、或いはマーケットの状況を把握したうえで戦略を立てていくことが必要になります。コロナ禍が収束した現在、鉄道を利用する人は以前の7、8割ということですが、その中でどのように環境問題を提案するのか、また、そういった環境下で社会がどのように変わるのかあるいはビジネスができるのか、企業がやらなければいけないのかを皆さんと考えていきたいと思います。


新山口駅



とあいさつがありました。

続いて、冨田栄次委員長より、

鉄道はエネルギー効率が優れていて、大量輸送など交通分野全体の環境負荷の軽減に非常に期待されております。実際省エネルギー対策や再生エネルギー導入の目的として推進されています。私共交通広告業界にとりましては広告主、鉄道媒体社、広告代理店とポスター、看板といった素材を含めた政策綱領を含めた取り付け会社、デジタルサイネージの製造取り付け配信会社と関連会社それぞれが各領域において出された課題を超えていくことが現在求められています。先月から東京証券取引所

においてカーボン・クレジット市場が開設されました。民間企業のグリーントランスフォーメーションに出た取り組みのきっかけになればと期待されているところですが、このことは非常に重要なことだと考えております。各企業にとって作業面でもコスト面でも負担が増すということも事実で、それ相応の覚悟が必要な分野です。環境問題については各社それぞれご意見をお持ちだと思いますので活発な議論により、有意義なものになりますよう皆様のご支援ご協力をお願いします。

とあいさつがありました。

また、7月19日に「自社で使用する印刷物の『カーボンオフセット』活用開始」のプレスリリースを出された株式会社オリコムより、加藤慎吾氏、熊谷学氏、近藤岳彦氏の3名を講師としてお招きし事例をお聞きしました。

説明するオリコム加藤慎吾氏（左）

概要は次の通りです。

日時：2023年11月7日（火）13時30分～15時00分

会場：ジェイアール東日本企画12階プレゼンテーションルームA

会議次第：

新井良亮会長挨拶

冨田栄次委員長挨拶

議題

（1）環境活動事例報告

株式会社オリコム

自社使用印刷物の「カーボンオフセット」活用

・事例紹介

・質疑応答

（2）今年度事業報告

・第17回地球温暖化防止キャンペーンの実施報告

（3）その他

・今後の委員会活動について

現在使用しているJAFRAの環境方針ポスター並びにカードは2015年作成のものなので、以降、環境に対する取り組みなどに大きな変化があるので、更新する時期が来ているという声も聞かれた。

現在使用されている環境方針ポスター

編集後記

毎年1回心を無にして木彫りに挑戦しています。今回は、巻貝を彫ってみました。円錐形を作り、らせん状に筋を彫り入れればいいのではと安直に考えていましたが、巻貝の蓋の部分の構造が思った以上に複雑で、貝の巻きが緩くなってしまいました。三次元を再現するのって難しいですね。次回もチャレンジします。みなさまの2024年のチャレンジ教えてください。

●メールと写真、ご意見、ご感想はこちらへどうぞ。
information@j-jafra.jp

●会員社の代表者、他が変更になった場合は、ホームページ（http://j-jafra.jp）の「各種届出書類」に変更届がありますので、ご記入の上、事務局宛にお送り下さい。ご協力お願いします。

●次号Vol.82は2月1日発行予定です。お楽しみに。